

## シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車整備		
科 目 名	電装整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	3年後期	水曜日	3・4時限
時 限 数	18時限（期末試験を除く）		
担当教員名	溝田 稜		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、自動車の空気調和装置（エアコン）についての講義を実施する。		
授業の目的	空気調和装置（エアコン）の構造、機能、点検方法を復習後、オートエアコンの各センサ、アクチュエータ、ECUの制御について学習する。		
テキスト	①二級自動車シャシ（日本自動車整備振興会連合会 発行） ②一級自動車整備士 シャシ電子制御装置（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	空気調和装置（エアコン）1	エアコンの分類 構造・機能	①P186-195
第2回	空気調和装置（エアコン）2	マニュアルエアコン オートエアコン	①P195-200
第3回	空気調和装置（エアコン） 整備	エアコン整備 冷媒量の点検、 ゲージマニホールド取扱等	①P200-203
第4回	オートエアコンディショナ 高度整備技術1	概要 オートエアコンECU	②P199-201 ②P269-272
第5回	オートエアコンディショナ 高度整備技術2	構造・機能・点検 論理信号センサ、リニア信号センサ	②P202-221
第6回	オートエアコンディショナ 高度整備技術3	構造・機能・点検 リサキュレーションアクチュエータ	②P222-241
第7回	オートエアコンディショナ 高度整備技術4	構造・機能・点検 モードアクチュエータ	②P241-259
第8回	オートエアコンディショナ 高度整備技術5	構造・機能・点検 エアミックサアクチュエータ	②P250-257
第9回	オートエアコンディショナ 高度整備技術6	構造・機能・点検 ブローモータ、CAN	②P257-268
	期末試験	第1回～第9回までの授業内容に関する筆記試験	

到達目標	オートエアコンのECU制御、各センサ、アクチュエータの構造・機能を理解し、電子制御系の点検・整備手法を修得する。
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、期末試験を合算して行う。
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>期末試験の点数 80 % 平常点 20 %</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。 70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点 = 良とする。</p>
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が70点未満の場合。